

## 平成 25 年の年頭に際して



国立国会図書館長

大滝 則忠

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

国会議員の皆様におかれましては、国立国会図書館が取り組む国会サービスを多面的にご活用いただくよう、年頭に際して、改めてご案内申し上げます。

国立国会図書館は、調査及び立法考査局を中心に全館をあげ、国政全般にわたる国会議員からの調査等のご依頼に対し、館が有する広範な情報資源と人材とを最大限に生かして、迅速に対応しております。国政課題に沿って、計画的に各種の刊行物を作成して提供するなど、信頼性の高い専門的な調査・分析を行い、その結果について迅速かつ的確な情報提供を一層充実強化できるように努めております。その一環として、この月刊誌『レファレンス』を刊行しておりますので、ご愛読のほど、お願い申し上げます。

さて、先の未曾有の東日本大震災の被災から、早2年が経過しようとしています。わが国は、今なお復興のための取組の途上にあります。調査及び立法考査局では、大震災の直後から特別体制を設け、国会議員からのご依頼に迅速かつ的確に対応し、多数の国会向けの刊行物を作成して提供する一方、国会の東京電力福島原子力発電所事故調査委員会の活動に際しては、同事務局への職員派遣も含めて協力するなど、国会の活動を十全に補佐するよう努めてまいりました。また、大震災の直後から、国として大震災に関するあらゆる記録を保存し、復興に役立てるとともに後世に伝えることができるよう取り組むことの重要性が認識されております。そのため、国立国会図書館は、これまで関係府省と連携し、官民の諸機関に分散して保存されている記録を横断的に検索できる東日本大震災アーカイブのシステム構築を準備してまいりましたが、本年3月に同システムを公開稼働いたします。新しいシステムも活用して、大震災に関連する国会サービスを充実することに努めてまいります。

国立国会図書館では、中期的な目標を内外に示すべく、昨年7月末に「私たちの使命・目標 2012-2016」を策定して公表いたしました。その中で、今後おおむね5年間において最大限に努力すべき目標の第1に、「国会の活動の補佐」の機能強化という柱を掲げ、「国政課題に関する信頼性の高い専門的調査・分析と迅速かつ的確な情報提供を一層強化して、国会の活動を十全に補佐」できるよう取り組むこととしております。年頭から、この柱のもとで重点事項を整理して、改めての取組を始めます。

繰り返して申すまでもなく、国立国会図書館は、国会議員の職務遂行を補佐することを使命として設立された、国会附属の機関であります。本年も、その原点に常に立ち返りながら、国会サービスの充実向上に取り組む所存でありますので、引き続き、よろしくご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。